

Japanese Graded Readers

レベル別 日本語多読 ライブラリー



にほんごよむおむ文庫

レベル **3** vol.3 14



か　　っ　　ぶ　　ぬ　　ー　　ど　　る
カップヌードル
か　　ら　　お　　け
カラオケ
う　　お　　ー　　く　　ま　　ん
ウォークマン
～に　ほん　　う　　せ　かい
日本で生まれて世界へ～

作＝川本 かず子
栗野 真紀子

挿絵＝宇田川 のり子

監修＝NPO法人日本語多読研究会

にほんご よむよむ文庫 レベル 3

か っ ぶ ぬ ー ど る か ら お け う お ー く ま ん
カップヌードル／カラオケ／ウォークマン

に ほん う せ かい
～ 日本で生まれて世界へ ～

作（さく） ： 川本 かず子（かわもと かずこ）
栗野 真紀子（あわの まきこ）

挿絵（さしえ） ： 宇田川 のり子（うだがわ のりこ）

監修（かんしゅう）： NPO 法人日本語多読研究会（にほんご たどく けんきゅうかい）

<監修者紹介>

NPO 法人 日本語多読研究会 (にほんご たどく けんきゅうかい)

当研究会は、学習者のための「読みもの」を作ることを目的に、日本語教師が集まって、2002年1月に発足しました。2006年9月にNPO法人になりました。「レベル別読みもの」を開発したり、それらを使った「多読」の授業の実践・研究をしたりしています。 <http://www.nihongo-yomu.jp>

レベル別日本語多読ライブラリー (にほんご よむよむ文庫)

[レベル3] vol.3

カップヌードル／カラオケ／ウォークマン ～日本で生まれて世界へ～

2009年4月27日 初版 第1刷 発行

作：川本 かず子 (日本語多読研究会会員・日本語教師) 「カップヌードル」「カラオケ」

栗野 真紀子 (日本語多読研究会会員・日本語教師) 「ウォークマン」

作画：宇田川 のり子

監修：NPO 法人 日本語多読研究会

ナレーション：山中 いっとく／小金澤 篤子

録音・編集：スタジオグラッド

デザイン・DTP：仙台 忍

発行人：天谷 修平

発行：株式会社アスク出版

〒162-8558 東京都新宿区下宮比町 2-6

TEL.03-3267-6864 FAX.03-3267-6867

<http://www.ask-digital.co.jp>

<http://www.ask-digital.co.jp/tadoku> (『にほんご よむよむ文庫』公式サイト)

印刷・製本：株式会社光邦

許可なしに転載・複製することを禁じます。

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

©NPO 法人日本語多読研究会 2009

Printed in Japan ISBN978-4-87217-703-9

にほんご よむよむ文庫 レベル 3

か っ ぶ ぬ ー ど る か ら お け う お ー く ま ん
カップヌードル／カラオケ／ウォークマン

に ほん う せ かい
～ 日本で生まれて世界へ ～

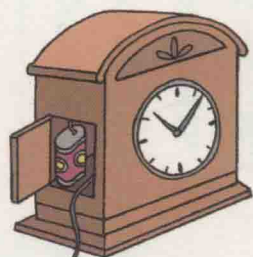
作（さく） ： 川本 かず子（かわもと かずこ）
栗野 真紀子（あわの まきこ）

挿絵（さしえ） ： 宇田川 のり子（うだがわ のりこ）

監修（かんしゅう）： NPO 法人日本語多読研究会（にほんご たどく けんきゅうかい）

にほん う ゆうめい
日本生まれの有名なもの

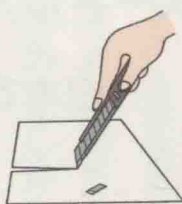
せ かいじゅう ひと つか なか にほん う
世界中の人たちが使っているものの中に、日本生まれのものがいろいろあります。



かんてん ち
乾電池



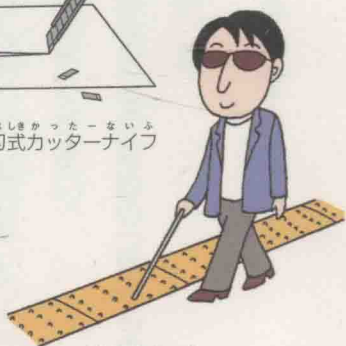
かっぱぬーどる
カップヌードル



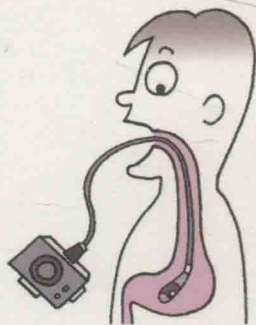
おはしきかったーないふ
折る刃式カッターナイフ



うおーくまん
ウォークマン



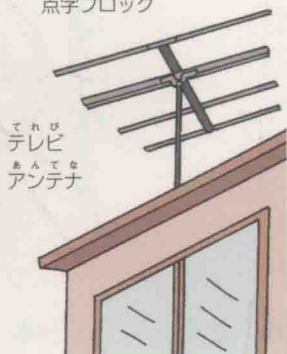
てんじぶろっく
点字ブロック



いかめら
胃カメラ



からおけ
カラオケ



てれび
テレビ
あんでな
アンテナ

いくつ知っていますか？

これから、かっぱぬーどる、からおけ、うおーくまんが、どの
ようにして生まれたか、しょうかいしましょう。

か っ ぶ ぬ ー ど る
カップヌードル

お湯があれば、いつでもどこでも食べられるカップめん。

日本では、1年に30億食も食べられています。みなさんも食べたことがあるでしょう。

世界で一番初めにできたカップめんが、「カップヌードル」です。





ある た 歩きながら食べる！

1971年7月、東京の銀座に、最初のハンバーガーの店「マクドナルド」ができました。同じころ、銀座で、「歩行者天国」が始まりました。歩行者天国は、車が入れないので、人が車道も歩けます。歩きながら食事をしたことがなかった日本人が、このとき初めて、道を歩きながらハンバーガーを食べたのです。若い人たちは、それがとても「かっこいい！」と思いました。



この年の9月、最初のカップめん「カップヌードル」が誕生しました。そして、歩行者天国でも売られて、若い人たちが



カップヌードルを歩きながら食べました。スキー場、スケート場、海や山などでもよく売れました。



ちきんらーめん せかい チキンラーメンを世界へ

「^かっ^ぶぬーど^る」を^{つく}ったのは、「^{にっしんしょくひん}日清食品」という^{かいしゃ}会社の

^{しゃちょう}社長・^{あんどう}安藤百福（1910～2007^{ねん}年）でした。

^{あんどう}安藤は、「^かっ^ぶぬーど^る」を^{つく}る^{まえ}前、1958^{ねん}年に、^{せかい}世界で
最初^{さいしょ}の^{いんすたんとらーめん}インスタントラーメン、「^{ちきんらーめん}チキンラーメン」を^{つく}りました。

これは、^{どんぶり}丼に^ゆめんと^いお湯を^{つく}入れて作るものでした。



^{あんどう}安藤は、この^{ちきんらーめん}チキンラーメンを^{せかいじゅう}世界中の人に^{ひと}食べて^たもらいたい
と^{おも}っていました。そして、1966^{ねん}年、^{あめりか}アメリカへ^い行きます。

このとき^み見た^{あること}から、^かっ^ぶぬーど^るカップヌードルが^う生まれたのです。



カップヌードルが生まれるまで

丼のいらないラーメン

ちきんらーめんを買ってもらおうと思^{おも}って、安藤^{あんどう}が、アメリ^{あめりか}カのある会^{かい}社^{しゃ}に行^いったときのこ^ことです。アメリ^{あめりか}カ^か人の社^{しゃ}員^{いん}が、ちきんらーめん^{ちきんらーめん}をかみこ^{かみこ}っ^っぶ^ぶい^いれて、ふ^ふお^おー^ーく^くで^でた^たべていま^{いま}した。それ^{それ}を見^みて、安藤^{あんどう}は思^{おも}いま^{いま}した。

—— 丼^{どんぶり}や箸^{はし}を使^{つか}わ^わないで食^たべ^べら^られるラ^らー^ーメ^めん^んにす^せれ^{かい}ば、世^せ界^{かい}で売^うれるぞ！ ——



い もの ざいりょう はっほう す ち ろ ー る

入れ物の材料は、発泡スチロール

—— 入れ物にめんが^{はい}入っていて、それにお湯^ゆを入れたら、そのま^たま食べられる。そんな^{らーめん}ラーメンが、どうやったらで^ききるだろう？ ——

あんどう はじ めに い もの かんが 安藤は、初めに入れ物を考えました。

ざいりょう かんが あつ ゆ い あつ 材料は、いろいろ考えて、熱いお湯を入れても熱くならない、そして^{かる}軽い「^{はっほう す ち ろ ー る}発泡スチロール」に決^きめました。

かたち かみ こ っ ぷ

形は、紙コップ

かたち かた て も た お えら 形は、片手で持てて、倒れにくいものが選ばれました。それは、かみ こ っ ぷ かたち 紙コップの形でした。



このふたがいい！

ある日のこと。安藤^{あんどう}は飛行機^{ひこうき}の中で、「カップめん^なのふた^な」を見つけました。それは、ナッツ^なの入れ物^{いれもの}のふたでした。



このときもらったナッツ^なは、大阪^{おおさか}の「インスタントラーメン^{いんすたんとらーめん}発明記念館^{はつめいきねんかん}」に今^{いま}でも大切^{たいせつ}に置いてあります^お。



写真提供：日清食品株式会社

「カップめん^な」のカップ^なの誕生^{たんじょう}です。ここまで、2年半^{ねはん}もかかりました。

めんは、入れるんじゃない！

つき
次は、めんをカップに、どうやって入れるか考えました。

入れためんが動くと、トラックで運ぶときにめんが壊れてしま

います。あんどう
安藤は、めんをカップの中で止めて、下まで入れなけ

ればいいと思いました。これは、とてもいい考えでしたが、機

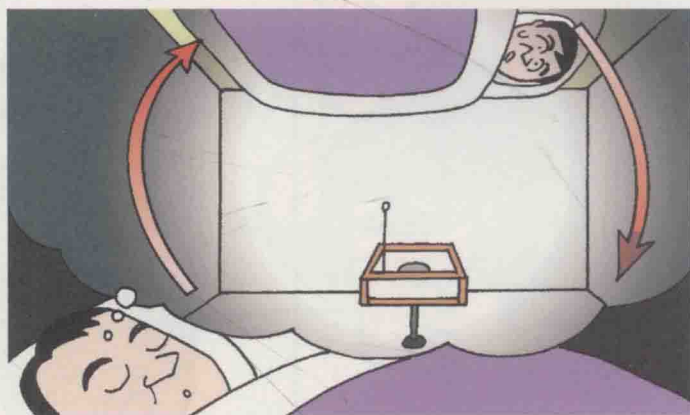
械で、めんを壊さないで入れるのは、とても難しいことでした。

あんどう まいにち ひる よる
安藤は毎日、昼も夜も、めんの入れ方を考えました。

ある夜、寝ていた安藤は、部屋が回ったように思いました。そ

のとき、^{こた}答えがわかったのです。

「そうだ！めんをカップに入れるんじゃない。めんにかップを
かぶせるんだ！」



さあ、できました！

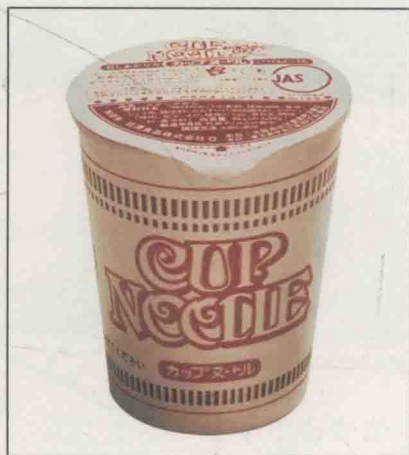
にほんじん た もの いろ たいせつ あんどう かっぶ
日本人は、食べ物の色を大切にします。安藤は、カップめんの
なか あか えび い おも
中に、赤いエビを入れたいとおもいました。

きれいな色 いろ の まま い 入れられる えび を、 やっ と み 見つけました。

あか えび きいろ たまご みどり やさい ちゃいろ にく かっぶ ぬー
赤いエビと黄色い卵、緑の野菜、茶色の肉……「カップヌー
ドル」の誕生です。つく はじ ねん
作り始めてから、5年かかりました。



写真提供：日清食品株式会社



写真提供：日清食品株式会社

いま せ かいじゅう ひと か っ ぶ た
今では、世界中の人が、カップめんを食べています。

いそが じ かん いま せいかつ か っ ぶ べん り
忙しくて時間のない今の生活に、カップめんはとても便利な
た もの か っ ぶ ぬ ー ど る う おも あんどう かんが
食べ物です。このカップヌードルが売れると思った安藤の考
えは、ただ 正しかったのです。



か ら お け カラオケ

「^{か ら お け}カラオケ」は、^{いま}今では、^{せ かいじゅう}世界中の人の^{ひと}楽しみの^{たの}になっています。





からおけ たんじょう カラオケの誕生

からおけ ねん いのうえだいすけ ひと さい
カラオケは、1971年、井上大佑という人が、31歳のとき
かんが かんが からおけ う
考えました。どのようにして、カラオケは生まれたのでしょうか。
いのうえ あ はなし き はな ず あか
井上さんに会って、お話を聞いてきました。話し好きで、明
るくてあたたかいひとでした。



はじ つく からおけ きかい えいとじゅーく いのうえ
初めて作ったカラオケの機械「8ジューク」と井上さん

写真提供：株式会社エス・アイ・ビー

🎤 こんなに^{せ かい ひろ}世界に広まったカラオケを作ったのですから、大^お
金持ちになったでしょう？

井上：^{いのう え おおがね も}大金持ちにはなりませんでしたが、^{すこ}少しは^{かね も}お金持ちに
なりましたよ。^{とつきよ と}特許を取っていたら^{おおがね も}大金持ちになっていた
のに、と^いみんなに言われます。

🎤 どうして^{とつきよ と}特許を取らなかったのですか？

井上：^{いのう え とつきよ}特許のことを^し知らなかったし、^し知ったあとも、^{とつきよ}特許とい
うのは、^{いま}今までにない^{あた}新しいものを^{つく}作ったときに^と取る
ものだと思^{おも}っていました。僕は、それまでに^{き かい}あった機械
を^{あつ}集めて^{つく}作っただけですから。

🎤 もし^{とつきよ と}特許を取っていたら……？

井上：^{いのう え ぼく とつきよ と}僕が^と特許を取っていたら、みんな^{ぼく}僕に^{かね はら}お金を^き払わなけれ
ばいけません。いろいろな^{かいしゃ}会社が^{あた}新しいカラオケの^き機
械を^{かい}作れなくて、^{から お け ひろ}カラオケは^と広まっていなかったんじ
ゃないでしょうか。だから、^と取らなくてよかったと思^{おも}って
います。